

風流印字

●発行 (株)和歌山印刷所

■本社

〒640-8412 和歌山市狐島609-9

TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631

■東京営業所

〒100-004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル 3階

TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441

●発行年月日 2021年4月1日

今日から4月!心機一転張り切っていきましょう!

こんにちは!和歌山印刷所、通称「わいん」です。

わいんには納品時のサポートや折込店への配達をしてくれる部門があります。

今月はわいんの縁の下の力持ち、「営業支援課」についての特集です。

■わいんの配達部門

弊社には「商品管理課」という、商品配達を請け負う部門があります。これまでは主に、お客様や折込センターへの商品配達、加工先への配達・引取業務を担当しておりました。しかし、営業部に次いでお客様と接する機会が多いことを活かさない手はない!ということで、今年から名前も新たに、プラスアルファの業務も担当しています。

■「商品管理課」から「営業支援課」へ

「営業支援課」となって大きく変わったのは、営業マンの代わりに校正のやり取り等も担当し、より営業部に近い形で業務を行なうようになったことです。

単なる配達員ではなく、セールスドライバーとなったことで、お客様のご意見をいただく機会も増えました。営業マン以外が訪問することで、いつもの営業マンには言いづらいと思われることも、伝えていただけるきっかけになったのかもしれません。

■営業支援課のメンバー

そんな営業支援課は全3名の少数精鋭です。課長の砂山典彦がまとめ役で、石田知輝と窪田裕充の2名がそれぞれ営業マンを支援します。ひとりで数名を支援するため、非常に効率的な動きを求められますが、長年の配達で培ったノウハウで難なくクリアしています。



▲左から窪田裕充・砂山典彦・石田知輝



■目印はワークマン製ユニフォーム

名前とともに、実はユニフォームも新しくなりました。荷物の積み下ろし等、身体を動かす機会が多いため、機能性に優れたワークマン製です。

お客様の満足度向上を目指し、これからも邁進してまいりますので、「営業支援課」ともども「わいん」をよろしくお願いたします。

総務3人娘がお届けする

わいわいインタビュー



ゆみりん みゃーこ あっちゃん

私たち総務3人娘が、社員の経験談を毎月レポートします。今月のゲストは、印刷部の和田 博文さんです!

■仕事で得た達成感は何ですか?

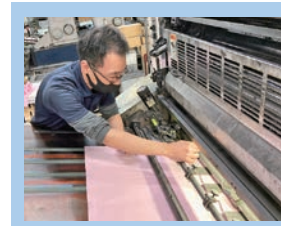
毎日の印刷業務の中で、予定通りスムーズに作業が進み、安全に仕事を終えることができた時です。その後、家に帰って家族の顔を見た時に、更に達成感を感じます。

■苦労したエピソードはありますか?

印刷機は今まで7台を経験していますが、どの機械も少しずつ操作が違い、覚えるのに苦労しました。すべての印刷機にクセがあるので、そのクセをつかむのがいつも難しいです。

■つらかったことを乗り越えた工夫って?

ご縁があり24歳で印刷業界に入りましたが、まったく印刷の知識もなく、同期の人もいなかったため、何度もうけそうになりました。しかし、素晴らしい先輩に出会うことができ、その先輩のおかげですべて乗り越えることができました。



印刷部 和田 博文さん (入社21年目)

面が見がいい和田さんは私たちがみるとその先輩のような人ですよ!



印刷業界の難解「あるある」をご紹介！

あるある印刷では、難解な事件(トラブル)が発生している。今日もまた、天然系工場長のもとに新たな相談が持ち込まれるのであった…。

あるある印刷の事件簿



事件ファイル14 「減感印刷」

新人営業マン：「工場長、お聞きしたいことが！3枚複写の伝票なんですけど、一部分だけ3枚目に複写されていません。どうなっているんですか？」

工場長：「すぐにその伝票を持ってこい！」

新人営業マンがそそくさと持ってきた。

工場長：「この金額の部分が3枚目だけ複写されないんだな。これはこの部分に減感印刷をしているんだ。」

新人営業マン：「ゲンカン印刷ってなんですか？」

工場長：「今回のように一部分だけを複写させたくない時は、減感インキという特殊なインキを使用して複写させたくない箇所を印刷するんだ。」

新人営業マン：「なるほど。3枚目の複写されない部分には、印刷後に上から特殊なインキで印刷されていたんですね。」

工場長：「そういうことだ！ところで別の案件のチラシに誤植が見つかったんだが・・・」

新人営業マン：「えっ・・・(涙)」

こんなトラブル

わいんの対策はこれ！

複写用紙に使用するノーカーボン紙は紙全体が複写されるように作られています。そのため、金額や個人情報など複写されたくない箇所がある場合には、減感インキでその部分を印刷します。そのような工程を減感印刷と言います。

減感インキは乳白色なので、印刷しても一目ではわかりにくいですが、印刷に使用する水の量が少ないと汚れ、多いと減感の効果が薄れるため、熟練の技術が必要です。

わいんでは減感印刷が必要な場合、校正時に減感箇所も一緒にお客様にお見せしています。データ入稿の場合は、減感部分がズレていないかの確認を必ず行います。印刷工程でも、減感チェッカーと呼ばれる特殊なスプレーを使い、減感の箇所を確認しています。



走れ、営業マン！！



かゆい カユイ 痒い・・・

西山友幾(営業部係長:41歳)です！

この時期になると花粉の影響で、目がかゆくなってしまいます。私の場合は季節の変わり目に、目のかゆみや、鼻水などの症状がでてきます。

昨年までは、あまり酷くなかったのですが、今回はものすごく目がかゆく、あまりのかゆさに、擦ってしまい充血しています。夜もかゆいので、目薬だけでなく、氷で冷やして紛らわすようにしていますが、目玉を取り出して水で洗いたいぐらいです。

皆さんはかゆくなくても擦らないように気を付けてくださいね。



娘の成長を感じる春

植中幸一(営業部部长:61歳)です！

今春、娘が高校を卒業しました。入学当初アルバイトがしたいとの相談があり、学校を休まない等の条件つきでOKしました。今まで家の手伝いすらしなかった娘だったので、3か月程度でギブアップと思っていたのですが、意に反し3年間バイトを継続し軽自動車1台分位の貯金をし、学校も無遅刻無欠席。成績も下がる事なく最終学年一桁順位で終わることが出来ました。親はなくとも子は育つといいますが、まさに父親を反面教師とし真つすぐに育ってくれた事に感謝、感謝です。高校3年間娘に対し、一度も怒ったことはなく、逆にダラシナイ私が小言をいわれる始末です。これからは誇れる父親を目指し精進していこうと思っている今日この頃です。



和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上でFAXを送っていただくとクオカード(500円分)を抽選でプレゼントいたします。(FAX/073-452-2631)

- 特集「営業支援課」 わいわいインタビュー あるある印刷の事件簿
走れ、営業マン!!

ご意見・ご感想等(御社名/

御氏名/

)

編集後記

昨年11月に白浜町のアドベンチャーワールド(AW)でジャイアントパンダのメスの赤ちゃんが生まれ、名前が「楓浜(ふうひん)」に決まりました。名前募集の応募総数は11万通、3候補に絞られてからの投票総数は9万票あったそうです。「楓浜」の名には「秋に色づき、美しく変化する楓のように、豊かに成長する姿がたくさんの人から愛される」との願いが込められています。全国的には上野動物園が有名ですが、世界有数のジャイアントパンダ繁殖実績のあるAWもすばらしいところ。パンダ親子の観覧は現在抽選制のようですが、楓浜を加えて7頭が暮らすAWをぜひ訪れてみてください。

(編集長:橋原健太)